

講義名	日本語B（聞く）【留学生科目】			授業形態	
担当教員	小野 勝	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

主として会話、説明、アナウンスなど、日常生活において耳にする話を取り上げ、それぞれの話のポイントを正確に理解できるよう、繰り返し聞き取り練習を行う。同時に、「論点を明確にした発話」及び「自分の意見を正確に相手に伝える発話」の実現を目的とした会話練習を行う。

到達目標

単文レベルではなく、複文レベルや段落レベルの話を理解し、会話ができるようになる。
話のポイントを正確に聞き取り、それぞれの場面や状況に即した発話ができるようになる。

提出課題

プリント提出等の課題はないが、発音チェックやアクセント・イントネーションに留意した文章朗読を行う。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

受講生が難しいと感じた発音やアクセント・イントネーションを取り上げ、解説、練習を行う。

評価の基準

授業中の課題達成度（20%）、小テスト等（20%）、中間の理解度確認（30%）、期末の理解度確認（30%）
授業を5回以上欠席した受講生については、成績評価の対象から外す。

履修にあたっての注意・助言他

毎回の授業で出席をとる。
授業中の私語及びスマホ等の不必要な使用は慎むこと。
日常的に予習、復習を心がけ、日本語に慣れる環境を意識して作ること。
少々文法の間違いや発音の悪さは気にせず、積極的に発話すること。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

初回講義時に指示

授業計画

1. イントロダクション / 自己紹介
2. 伝言を頼む / 伝言を申し出る
3. 電話をかけることを申し出る / 電話をかけることを依頼する
4. 訪う / 訪いを受ける / 訪いを断る / 返事を保留する
5. 許可を求める / 許可を与える / 許可をしない
6. 制限を述べる
7. 他から知り得た事実を伝える / 自分で判断したことを伝える
8. 中間の理解度確認
9. 情報が確かであることを伝える / 情報が不確かであることを伝える
10. 依頼をする / 依頼を受ける / 依頼を断る / 依頼を諦める
11. 指示する
12. 文句を言う / 行動を要求する
13. 譲る / 言い訳をする
14. 提案を述べる / 提案に賛成する / 提案に反対する
15. 期末の理解度確認

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

当週に学習した項目について、理解に時間を要した部分を中心に復習し、次週の授業に向けて準備をすること。（120分程度）
学習内容の定着を図るため、発音練習や読書の練習を行うこと。（120分程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

物事に自ら進んで取り組むことができるようになる。
自ら目標を設定し、他に依存することなくそれを成し遂げることができるようになる。
課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・整理し、解決できるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

授業の前後にかかわらず、日常的に「聞く / 話す」ことを心掛けること